

読者の声

詩・掲載ありがとうございます

オニセ号・三九ページ・読者文壇、読ませていただきました。御協力、誠にありがとうございました。

二枚からは変わったかたちの文も書ける様どりよくてやまたいと見えます。

私もこの現世で生きてゆく以上、どのような飯場に出合うかわかりません。その時は今のうちともよろしくお願ひします。

通り歩いた数多い飯場の中で、十日契約で行き、七日、八日過ぎてから何か追いつめられた形になり、仕事がついてそのまま金をもらわずに

トンコしたことは少なくありません。

最近では釜場さんのあかげをもちまして、安心して働ける飯場も多くなりました。暗い人生の中に正義と美を感じます。今後とも、われわれ労働者のためにがんばって下さい。

(熊本全店 四一オ)

思い出したこと一つ

刃を讀んで思い出した事一つ、

最近、人天出の屋に行く事の同保らへて感ひで行かない様になりましたが、茨木・山本組へ諸式のバカ高い所にいた三年前、あのヤコー・息子、無免許で外車を運転しておりました。

無免許といえども、神本のオ

ヤジも無免許へ二年前一なので、取締りがあると横道へよけて人天を運んどりました。

か、労働大目のおもないのに、ドロボウみだいに人様の現金をピンハネによるには、はらちまんを。

(はら だつら)

一言、おれを

先般、センター三階の求人票を、ガラス面などに張り出くて、だれでも一目瞭然と出来るようにせよ、と注文した事がありました。最近、そのようになっており、非常に見やすくなりました。

大勢の人が喜んでいて、す、代表しておれをいと言。

(三好幸吾 三七オ)

災害と一緒では：

災害のようにたれた頃に送って取る。まじめに継続して送るのかどうか、ちつとそアテにならん。創刊以来の読者として、外二名の固定読者も、なかあのこと浪世は二ふたで、ツブしたかなあと言っていた。釜では、女の手と本屋は長つづきしたことがないからなあ。

送料一〇〇円、封筒代を入れたら一冊の送り代一五〇円、まじめに継続送付してくれら

ず、さうした費用も浪世代

マのカンパぐらいはさ

うのことださせてもら

はつきりした返事を

ほしいよ。

でも所切れトンボヤ

夜作りの組織のような中途半端は反って有るだからネ。

所長の記事、活字がキタナクテ読みづらい、もうすこおちついて、キレイに書けよ。読みやすいことがオーだと思ふよ。

(やまざきひであ六二オ)

人間を買う。

ある人天出の飯場で「今日は現金一〇人買ってきた」と手配師らしい男がいう。

私はその言葉に怒りを感じた。「バカにするな、立派な労働者だ」と。

だいたい、人を言うという

言葉が気にならない。労働者

を何人と思っているのか。ま

してや人間尊重・文化の進ん

でいるわけ国に於いて、まさ

に言天へキレイの言葉といえよう。

皆さん、二人な言葉を聞きましたか。「ヤンコ、今日は五、六人ほど買った」のれりれは身体を売って

いるのではない。労働力を

売、ているのである。昔の悲しい「人身売買」の時

代はもう遠く忘れ、現代は労働者パンザイの時代である。

私はあえて言う。「人を

買う」こんな言葉は一日も

早く追放してきたい。

東京での体験 (ト 四二オ)

この五月から五日まで、出張仕事で東京にいた。各々の仕事現場は「武蔵野」

と頭に武蔵が付く土地の名が多かった。

関西では気の付かない点、違ふ点が色々あって、よい経験になったと思つてゐる。

先ずオーに、東日本出身の人と西日本出身の人の間に、言葉の壁があるという事だ。東側の人が早口でしゃべると、我々には聞きとれない。相手方も同様だ。飯炊きのおばさんが、西側の某の言葉は全然わからないといった時は、我々は苦笑したものだ。

それから、東京には緑が多い。見上げるような巨大な樹木の群がいたる所にある。昔は武蔵野の原始林だったのだらう。

次には、大学がやたらと目

に付く。郊外ですらこれだから、都心では推して知るべくだ。

町中を歩いて気付く事は、生そば屋が非常に多い事だ。その他もありますが、大阪にない点を述べて見ました。

(山中 登)

悪いことは何でも労働者が前に近鉄アベノ店で爆破予告事件があった。朝日新聞は店員の話として、文具売場に四十才前後の労働者風の男がいた、という記事を出していた。

その頃、ゆくはアベノ店に何回も散歩に行つていた。労働者風の男とは、もてかくなくて、それから何日か後である。

わくが文具売場のトイレに入つて出てくると、どこかで見えたツラの二人がいた。西成署の私服だ。こいつが犯人をレイレに爆発物を仕掛けていた、と思つて待ち伏せていたわけだ。二人はわくと入れ違ひにトイレに走り込んだ。へ目の色を変えて。

この事件、後で解決すると犯人は中学生であつた。

(ふらり 登)

川柳。パチンコ屋ノ玉も出さず、手巻の箱。黒田知事ノ一人を食うなよノ松花けめ。署内用ノ防犯コーナーノ標正せ。政治よシノ警務まかせのノ登々崎。無害者ノパツを洗うノ鶴屋かた。(政風干城)

資本主義者、共産主義者、右翼、

文明の進歩とは

「いったい文明の進歩というものは、人間がもっと幸福な生活に達したいという願ひから出たものだ。しかしこの幸福というものは、たんに物質的な欲求を満たすことにあつたのではない。当然そこには道徳的な意味が含まれてゐるはずだ。進歩とは個人と社会が道徳的に向上していくことでなくてはならない。」

ところが現在では、物質文明のすばらしい進歩に目ざくらまされて、いよいよ物質的な欲望ばかりが追ひ求められ、一般の人間はもとより、人類の良心であるべき詩人や思想家、政治家までが、道徳的な

もの、精神的なものの価値を忘れてしまつた。だから新しい時代になさねとい理想を創り出すことができないで、前の時代につくられた思想をまにあれせに使つてゐる。かくて物質文明はどんどん進んで行くのに思想はこれに追いつけず、物質文明を支配する二とかできない。

そこで人間の幸福に役立つべき物質文明が、権力を持つ個人や国家に善用されて、かえつて人間を不幸につき落とすようになる。こんなことでは人類はやがて滅びてしまつだらう……文化を建て直し、正しい進歩の道に向かわせるためには、どんなに何でも

生きて行こうとする「生きる意志」と人間の道徳的理念とを、しっかりと土台の上で結合させなければならぬ。

へ山室群等へシユツイツア、旺文社文庫 P114 と P115

彼の現在の心境を代弁する文章があつたので書かせてもらった。あつからず。ただこゝ世説には載せず、編集者各位に読んでもらえれば、その結構！

サン・セバスティアン (⑤) 後のサン・セバスティアンとはスペイン北部のフランスとの国境に近い、青い海、緑の山々、そして閑気な人々の住む所サン・セバスティアンに由来するものである。